

第3章 総合計画を推進していくために

～ 「人」・「地域」・「団体」が一体となった「協働」のまちづくり ～

総合計画の推進にあたっては、市民・まちづくり活動団体・事業者・行政などがまちづくりの目標を共有し、協働して取り組んでいくことが重要です。

「協働」という言葉には、お互いの不足しているところを補い合い、共に協力して課題解決していくといった意味が含まれています。「人」・「地域」・「団体」が、それぞれの責任において対応にあたることも大切ですが、それぞれが連携、協働しながら取り組んでいくことで、より満足感の高い課題解決につなげていくことが重要です。

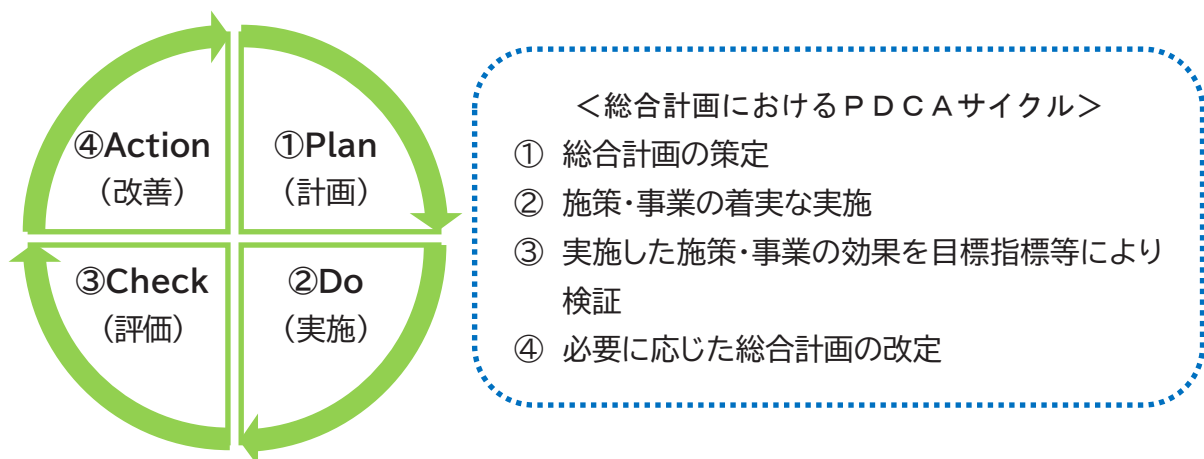
このために、各主体が、情報を共有し、お互いの考えや想いを理解し合うことに努めていく必要があります。

～ SDGs の理念を取り入れた取組の推進 ～

本市のまちづくりの基本的な方向性を示した総合計画に基づく取組は、すべての市民の生活の質の向上や市民をはじめとした幅広いステークホルダー※1との連携、誰一人取り残さない社会の構築、持続可能な開発など、SDGs(P110 参照)の理念を取り入れた総合計画を推進します。

～ 総合計画の進行管理 ～

計画の進行にあたっては、PDCAサイクル※2による進捗管理と着実な計画の進展に向けた進行管理を行います。施策に対しては可能な範囲で「指標」を設定しており、その推移を把握することで、目標に対する達成状況を確認していきます。



※1ステークホルダー…企業や行政、NPOなどの組織が活動を行うことで影響を受ける利害関係者。経営者、従業員、顧客、金融機関、地域住民、行政機関など、組織の活動に関わるすべての人がステークホルダーとなる。

※2PDCAサイクル…マネジメントサイクルの1つで、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(act)のプロセスを順に実施すること。